

2010年直轄五都市選挙の分析

洪耀南

結果から見れば、民進党は予想通りに三都市、
結 或いは四都市で勝利を収めることができなかったが、全体の得票数(表一)では、国民党よりも40万票多く得票した。市議会議員の議席数では民進党が大きく躍進し(表二)、表面的には国民党と同議席の130議席を獲得し、初めて五分五分となったが、その他の政党及び無所属推薦の候補も54議席獲得している。

全体の選挙過程からすれば、民進党は間違いなく国民党を大きくリードしていた。蔡英文がかつて述べたように、勝ち負けの判断は開票時の国民の気持ちにかかっており、今回は民進党の支持者が高い当選率を期待していたため、これが開票後の落ち込みに繋がったといえるだろう。勝負の分水嶺となる要因は色々考えられるが、両党の今後に与える影響についての主な分析は次のとおりである。

「国民党・民進党」による選挙戦の終焉

1990-2000 本土と非本土

1988年、李登輝総統代理は国民党党内勢力の底固めのため、主流・非主流の闘争を扇動し、1990年の総統選挙で勝利を収めた。総統に当選すると、彼は本土と非本土の争いを利用し、難なく1996年に実施された第一回総統直接選挙の国民党候補者にノミネートされた。

2000-2010 ブルー陣営(国民党系)とグリーン陣営(民進党系)

2000年、民進党の陳水扁は国民党から分裂した二つの勢力、すなわち正統派の連戦、後に親民党を結党した宋楚瑜と対決した。初めて野党になった国民党は新党と親民党を丸め込むため、ブルー陣営を基礎に、2004年にはブルー陣営とグリーン陣営の対決を駆り立て、そして319銃撃事件を機に、ブルー陣営は陳水扁反対派と陳水扁支持派の対抗へと導いた。2005年の県市長地方選挙、赤シャツ軍集結の下で行われた2006年の二都市選挙から2008年の立法院委員選挙及び総統選挙にかけて、陳水扁反対派の勢いはピークに達し、馬英九への投票は陳水扁反対の表れでもあった。

2008年下半期、反陳水扁を凝縮したブルー陣営の強力なイデオロギーは、陳水扁が拘束されたことから行き場を失い、投票へのモチベーションと投票意欲は徐々に低下していった。選挙前夜の銃撃事件は投票率を刺激したが、予想された65%の投票率を5%から7%上回っただけで、最終的には元の国民党と民進党の支持勢力基盤体勢に収まった。しかながら、両党の勢力構造は2008年の総統選挙時よりも縮まっている(台北市では14%、新北市では18%縮まった)。

2010-新時代の始まり

動員方法の変化: 李登輝時代には本土意識と台

湾人アイデンティティが高揚した。陳水扁が総統になった2000年以降は、いずれの選挙でも族群アイデンティティが激しさを増し、族群の動員が民進党の選挙戦の基本手段となった。民進党は今回の直轄五都市選挙を利用して、族群の動員を階級の動員へと転換し、選挙集会では社会住宅・児童政策等、中間層の関心事項について言及している。

地方派閥の転換

合併昇格(台中縣市、台南縣市、高雄縣市)により、政治資源が減少し、例えば、郷鎮市長は政府派遣に改めて郷鎮市代表選挙を取りやめ、また市議員の議席数も減少する。競争の激化が地方派閥の様相にも衝撃を与え、地方派閥の弱化と転換が予測される。今回は地方派閥と国民党ノミネートの矛盾が南部二都市における民進党の版図

を拡大させ、台中でも大きな変化があった。

新たな選挙戦時代の幕開け

国民党が三議席、民進党が二議席獲得する結果になったが、民進党は今回の選挙戦で、インターネットの活用、有権者間の交流、有権者が自主的に発足させた後援会、音楽会等を通して政策や理念をアピールした。多くの有権者の心をつかむことはできなかったが、民進党はすでにブルー陣営・グリーン陣営の枠組みを脱却し、中間左派を機軸にしている。反対に、国民党はブルー陣営・グリーン陣営の争いの渦の深みにますますはまり、あらゆる選挙でブルーとグリーンの対決を訴えているが、実際には勝負は有権者の心にある。B

表一【直轄五都市市長選挙における各政党の得票状況】

政党	得票数	得票率
民主進歩党	3,772,373	49.87%
中国国民党	3,369,052	44.54%
合計政党得票数	7,141,425	94.41%
無所属及び政党推薦なし	422,692	5.59%

表二【五都市市議会議員選挙における各政党の議席数】

政党	当選議席数
中国国民党	130
民主進歩党	130
無所属及び政党推薦なし	45
親民党	4
新党	3
台湾団結聯盟	2

表三【五都市市議会選挙における各政党の得票状況】

政党	得票数	得票率
中国国民党	2,890,154	38.63%
民主進歩党	2,643,828	35.34%
新民党	151,661	2.03%
台湾団結聯盟	126,359	1.69%
新党	95,050	1.27%
緑党	24,650	0.33%
制憲聯盟	188	0%
台湾民意党	138	0%
合計政党得票数	5,932,028	79.82%
無所属及び政党推薦なし	1,549,926	20.72%